



2023
議会だより

よしか

第68号

令和5年10月25日



収穫の秋

▶ 第3回定例会・主な事業	2	▶ 議案の議決結果表	7
▶ 主な質疑・討論	3	▶ 一般質問	8～11
▶ 臨時会・全員協議会	4	▶ 決算審査報告・発委・発議	11
▶ 議会へのご意見	5～6	▶ 要望・意見交換会ほか	12

第3回 定例会 《9月8日～27日の20日間》

一般会計補正予算(案) 1億3,033万1千円

賛成 3 反対 8 で否決

光熱費等高騰対策として、指定管理者への補助金2,032万円が盛り込まれていたが、民間事業者との不公平感に反対意見が多かったため。

一般会計補正予算(修正案) 1億5,241万4千円

賛成 9 反対 2 で可決

指定管理者への光熱費等補助金2,032万円を一旦取り下げ、新たに生活・経済対策を制度化し、遅くとも12月定例会までに再提案することとした。

◎令和5年度予算総額 79億3,315万7千円
4.1%増

主 な 事 業

地域医療対策費

新病院建設に向けた基本計画を策定するための経費 941万円
新病院「よしか病院」の医師が入居する住宅の修繕経費 3,300万円

有機農業振興費

アンテナショップ20周年記念式典イベントの開催経費 68万円

温泉・交流施設管理費

利用料金収入の減収等に伴う指定管理料の増額分 1,655万円

健康増進交流促進施設管理費

「ゆ・ら・ら」のろ過機更新に伴う配管等更新経費 1,330万円

芸術文化とふれあう協議会補助金

グラントワが行う澄川喜一氏追悼展に対する補助金 30万円

交流研修センター管理

よしかみらい交流センター（吉賀高校男子生徒受入れ施設）の整備費用 858万円

主な質疑・討論

第3回定例会

9月15日

岩本町政で3度目の否決

補正予算案には光熱費高騰対策費として、指定管理施設への補助金2032万円が盛り込まれていました。しかし、民間事業者も苦しんでいるなか、指定管理者だけへの支援は公平ではないと、否決されました。

藤升議員

ゼロゼロ融資が返せない商工業者、燃料・肥料・飼料・カントリーの使用料アップに苦しんでいる農業者など、多くの民間事業者が苦勞しているのになぜ指定管理施設に限定したのか。

【町長】

精査したうえで公共施設を中心の支援にした。国や県へは交付金の継続を要望して、今後は幅広い支援を行っていきたい。

村上議員

制度の違いはあっても、民間への経営継続補助金は総額で1300万円で3分の2の補助、指定管理者へは2032万円で100%の補助と金額・補助率ともに民間への支援より手厚くなっている。不公平ではないか。

【副町長】

町有施設の管理をお願いしているなかで発

生したもので、優先させた。

討論

議案第60号

吉賀町一般会計補正予算（第4号）

反対討論

藤升議員

地方創生臨時交付金の支出の多くが、指定管理施設の光熱費高騰分である。行政は、町内業者の実情を把握しているにも関わらず、民間事業者を応援する姿が見られないため、反対する。

河村（虫）議員

町内業者はコロナ禍で大変疲弊しているのに、今回の光熱費高騰に伴う補助金は指定管理施設に特化したものである。指定管理であっても、企業努力での売り上げ増加、経費削減の努力はできると考え、反対する。

河村（隆）議員

町内の一般企業に対しての、物価高騰等対策経営継続補助金は補助率3分の2で、さらに条件がある。

一方、指定管理施設は差額補助であり、年度末でないと金額は確定しない。現時点で予算化することは不自然であると思い、反対する。

◇賛成3・反対8の賛成少数で否決

第3回定例会

9月27日

9月15日否決された予算案から、問題になった光熱費高騰対策補助金を削除した予算が上程され、可決されました。

河村（虫）議員

民間への支援も、指定管理者への支援も、算定の基準は同等にすべきである。

【町長】

商工会・JA・生産者団体等と十分に協議し、バランスの取れた制度設計をしたい。

討論

議案第62号

吉賀町一般会計補正予算（第4号）

反対討論

桜下議員

議案第60号が否決となった主な理由は、町民と指定管理者との間に不公平感があることだったが、今回の補正予算案は指定管理者への補助を先送りにしただけであり、一般財源を使っても町民対策に当たるべきと考え、反対する。

◇賛成9・反対2の賛成多数で可決

臨時会・全員協議会

▶第3回臨時会（8月4日）

＊請負契約の変更について（令和5年度林道滑峠線舗装改良工事）
工期の204日間延長

＊令和5年度吉賀町一般会計補正予算（第3号） 722万4,000円
公設民営化とする病院事業を公営企業会計として新設のための費用など

▶第7回全員協議会（8月4日）

＊六日市病院の公設民営化に係る経過報告

▶第8回全員協議会（8月31日）

＊第3セクター等の経営状況

一般社団法人吉賀町農業公社

株式会社サンエム

＊介護保険に係る国庫支出金（介護給付費財政調整交付金）の算定誤り

・国に報告した交付金の算定に必要な保険給付費額に誤りがあり、本来1億524万3,000円のところ、9,323万円の交付となった。

＊六日市病院の公設民営化に係る経過報告

・リース対応から一転、無償譲渡受け入れ

計画では新病院が完成するまでの間、六日市病院をリースし有償譲渡は受けない方針でした。しかし石州会から無償譲渡の申し入れがあり方針を転換しました。

今後は新病院の建設・土地の買い取り・解体費用・新しい病院ができるまでの機器の更新や、施設の修理などに多額の財政支出が必要となります。

主な質疑

中田議員

計画が二転三転する。石州会の主導で交渉が行われているのではないか。

【医療対策課長】

町の方針・提案はしっかり示して、交渉している。

三浦議員

新しい病院の建設費をどのように見積もっているのか。

【医療対策課長】

一床3,000万円で見積もっているので、今の時点では総額30億円は必要になると思っている。

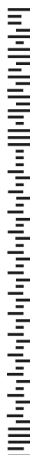
議会についてのご意見をお聞かせください

吉賀町議会では、議会活性化のため、具体的な取り組みを進めています。

つきましては、住民の皆様から議会についてのご意見や提言をお寄せいただきたいと思います。

ご住所やお名前を記入された方には、回答させていただきます。

なお、議会・町政に関しないものやひぼう中傷等には回答いたしませんので、ご了承下さい。

のりしろ	切り取り
折ってください	
ご意見等ある方は、 裏面にご記入の上、 外枠にそって切り 取り封書にして投 函してください。	料金受取人払
	益田郵便局承認
	355
	差出有効期間 2024年12月 31日まで 〔切手不要〕
折ってください	
のりしろ	折ってください
切り取り	

698-8790

吉賀町六日市七五〇
吉賀町役場 議会事務局 行

- ◇議会・町政以外のことについてのご意見等はご遠慮ください。
- ◇ご住所、お名前の記載がない場合は、回答はいたしません。
- ◇いただいたご意見等を、匿名で「議会だより」や町のホームページに掲載することがあります。
- ◇簡潔な内容をお願いします。

切り取り

(個人情報保護により、記載されたご住所、お名前等は他の目的には使用しません。)

件 名

切り取り

『議決結果表』（議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない）

【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
臨時第3 会回	議案第44号	請負契約の変更（令和5年度林道滑峠線舗装改良工事）
	議案第45号	令和5年度吉賀町一般会計補正予算（第3号）
	議案第46号	吉賀町議会委員会条例の一部を改正する条例
第3 回 定 例 会	同意第1号	吉賀町功労表彰者の選定同意
	同意第2号～ 同意第4号	吉賀町固定資産評価審査委員会委員の選任同意
	議案第47号	吉賀町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第48号	吉賀町課設置条例の一部を改正する条例
	議案第49号	吉賀町特別会計条例の一部を改正する条例
	議案第50号	吉賀町病院事業手数料及び使用料条例の制定
	議案第51号	吉賀町病院事業の剰余金の処分等に関する条例の制定
	議案第52号	吉賀町訪問看護事業所の設置及び管理に関する条例の制定
	議案第53号	吉賀町訪問看護手数料及び使用料条例の制定
	議案第54号	吉賀町介護老人保健施設の設置及び管理に関する条例の制定
	議案第55号	吉賀町介護老人保健施設手数料及び使用料条例の制定
	議案第56号～ 議案第59号	令和5年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）ほか3件
	要望第1号	アンテナショップ土地建物賃借料の行政負担について（除斥庭田）
	要望第2号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しについての要望書
	認定第1号～ 認定第8号	令和4年度吉賀町一般会計歳入歳出決算認定ほか7件
	議案第61号	吉賀町医療介護従事者住宅の設置及び管理に関する条例の制定
	発委第5号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書（案）

【賛成少数で否決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
定第3 例回	議案第60号	令和5年度吉賀町一般会計補正予算（第4号）	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●

【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件名	桜下	村上	三浦	桑原	河村 (由)	松蔭	河村 (隆)	大庭	藤升	中田	庭田
第3 回 定 例 会	議案第62号	令和5年度吉賀町一般会計補正予算（第4号）	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	議案第49号	吉賀町病院事業の設置等に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	発議第4号	最低賃金引上げ分への支援で営業を守ることを求める意見書（案）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	発委第6号	高齢者福祉・介護施設・事業所で働く人の処遇改善を求める意見書（案）	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

加齢性難聴者へ補聴器購入助成を



藤 升 正 夫

質問

日本耳鼻咽喉科の学会は「65～74歳では3人に1人、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいる」と紹介している。

認知症の予防となる社会的参加を妨げることも加わり、より認知症を発症する可能性も高まる。

音の聞こえが悪くなることで、平衡感覚を維持することが難しくなるため、つまずきや転倒などのリスクが高まる。

購入した補聴器が合わない点について、人それぞれによつて聞こえ方にばらつきがあり、一人ひとりの状態に合わせて調整するもので、認定補聴器技能者がこの調整を行う。

日本聴覚医学会は、

早い段階から補聴器を使うことで、コミュニケーションを支え、脳への刺激を維持することとを可能にすると言う。

高齢者の生活を支援し、社会参加を促進する補聴器購入助成を、中程度の難聴者に対しても行うことを求める。

令和6年度実施を担当課へ指示

町長

他の自治体においても制度導入する団体が増えつつあり、益田市は令和4年4月から事業を開始している。吉賀町においても速やかに制度設計を行い、令和6年度より実施するよう担当課に指示をしております。要綱及び必要な予算額の積算等の作業を行っている。

旧蔵木中学校の活用は



松 蔭 茂

質問

旧蔵木中学校の利用はどのようなになっているか、解体すればどのくらいの費用がかかるか。

その費用と、法令上使用できる改修費用はどのくらい違うか。

空き家、休耕田（耕作放棄地）が増えている。利用等解決策はあるのか。

空き家、休耕田対策

町長

令和元年8月に行った実態調査では、空き家戸数362戸のうち、管理不全での危険家屋は33戸あった。

吉賀町空き家等対策計画に基づき、空き家の予防、適正管理、利用促進、管理不全の解消に取り組む。

協議中である

教育長

蔵木小学校改修のため、仮校舎として利用し、令和5年4月より使用していない。

屋体は、公民館移設とともに有効利用に向けて地域の住民代表と協議中である。

解体については想定していない。



旧蔵木中学校

石州会の不測の事態への対応は



桜 下 善 博

質問

六日市病院の運営は来年3月31日まで石州会と決まっているが、現在の運営状況は非常に厳しいと石州会側から報告があった。

来年3月決算では、約3億円の赤字が予想されるところである。

国からの特別交付税以外の財政支援はしないと町長は表明しているが、不測の事態が発生した場合の対応は想定しているか。

カタクリ会に前倒しする

町長

不測の事態に対応できるよう、新法人の立ち上げ等の準備を早期に進めている。約9割程度の規定を整備し、訪問診療も既に開始している。

質問

仮に石州会が3月までの運営ができないのであれば、医療法人カタクリ会による運営開始の前倒しは、必須の措置と考えている。

石州会へは、町の考えを9月議会終了後、正式に伝える。

職員への対応は

質問

カタクリ会への採用試験で不採用になった職員への対応はどうするか。

石州会が対応する

医療対策課長

職員は、現在、石州会がされているので、石州会が責任を持って対応していただけていると思う。

環境破壊に反対の声を



庭田 英明

質問

環境破壊や健康障害など、トラブルが多発している大規模な風力、太陽光発電などの事業に対して、町は反対の意思を強く示すべきである。

住民の理解が基本

町長

再生可能エネルギーの普及は国策であるので、地域住民の理解が得られれば歓迎すべきものと考える。

太陽光については条例を早急に制定する。

森林資源の活用を

質問

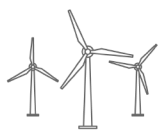
バイオマス発電は雇用、経済、公共施設への電力、熱エネルギーの供給などメリットは大きい。

い。町の94%の山林資源を有効に活用すべきである。

自治体間での連携を

町長

日原にできた発電所と連携できる可能性もあり、今は発電所の建設は考えていない。



アンテナショップは町の政策

質問

指定管理者の扱いにすべきだ。

町には必要な施設

町長

行政の責任で支援はしっかり行っていく。

吉賀町オーガニック宣言とは



中田 元

質問

①有機農業の取り組みを拡大するオーガニックビレッジ宣言については、2月に全員協議会で説明があったが、4月の正式宣言は違う内容になっていった。全協に変更説明がなかった理由と経緯を知りたい。

②宣言後、半年以上経過したが、進捗状況と今後の見通しは。

③地域ぐるみの取り組みはどのような形でいるのか。

④オーガニックビレッジ宣言について、地域に出て説明するべきではないか。

町民へのPRを積極的に

町長

①全協では5年間の目標を説明した。

②申請時に県、国の指導で数値や内容を変更して3年間の目標とした。宣言はホームページや広報で公表したが、全協でも丁寧に説明すべきで配慮不足であった。

③高齢化、有機農業の知識不足などの課題があり、イベントや講習会など目標に沿って実施している。

秋には米の商品化の予定もあると聞いている。

④地域へのPR不足は反省しているが、高校の食育フェアや町の公式YouTubeなどにもアップしている。要望があれば産業課も地域に出て説明する。

病院新設は



河村 由美子

質問

先般の説明では石州会所有の建物の有償譲渡は受けず、新病院を建設する基本方針を出した。新病院の規模、将来の人口推移等勘案し、場所は国道に面した真ん中（真田地区）が理想と思うが、考えを問う。

議論を進める

町長

県の医療政策課及び県知事に面会し、町の現状を説明し建設の必要性について理解を得られたところである。

今後、新病院建設基本計画策定委員会を立ち上げ、候補地、規模等議論を進めていきたい。

自主財源の拡大には

質問

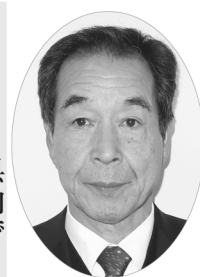
ふるさと納税の昨年の実績は、県下2番目に低い1700万円だった。当町には返礼品で目立つ物も少なく、ブラッシュアップしても納税者の意欲を掻き立てることができない。環境に配慮した水力発電で自主財源の拡大を計画されている。

検討を続ける

町長

当町でも水力発電候補地が2か所あるが、試算の結果20年間の稼働期間について2か所とも発電単価が売電単価を上回るとの報告を受けた。町も脱炭素社会の実現に向けた一つの手法として今後注視していく必要がある。

児童生徒の安全安心は



桑原 三平

質問

県内で8歳の男児が別の児童と接触した際、転倒し死亡した。

この事故を受け、課外活動等児童生徒の安全安心について見解を聞く。

マニユアルの策定を検討

教育長

学校には、学校保健安全法により危機管理マニユアルの策定が義務付けられているが、公民館が実施する社会教育活動には法規制がなく、マニユアルの策定に至っていない。

現在、この事故を受け社会教育活動に特化したマニユアルの策定や、職員の危機管理に関する研修を検討して

荻・石見空港の利用促進は

質問

空港利用拡成員でありながら、搭乗率が他の市町と比べ低い。

岩国空港等もあり、町の位置も関係しているが、更なる利用を推進するため、特に東京発の第2便について空港と町間を結ぶ予約制の直行便は考えられないか。

利用拡大に向けて検討したい

町長

予約制の直行便がよいか、タクシー代の一部助成が良いのか検討したい。

人口減少による町の対応は



三浦 浩明

質問

全国の自治体で人口減少対策に取り組んでいないが、これといった打開策が見いだせない自治体も多く、当町においても「まちづくり計画、人口ビジョン」等の長期計画は策定されているが、町全体の年齢推移等見ると、少子高齢化対策がしっかりと根付いていないように見受けられる。

今後の人口減少問題において町民が安心して暮らせるよう、どのような対策を講じていくのか。

支援策により充実・強化

町長

人口目標に
おいて8月末
時点で、総人口576

6人、高齢化率45.2%で、2年前倒しの数値で大変危機感を感じている。

少子高齢化は、今後出生率は横ばいから減少、高齢化率はやや上昇傾向で推移すると予測しており、当面は子育て支援策を継続していく。

独居の高齢者対策は、買物や移動、医療機関受診等、社会福祉法人協議会等と連携を図りながら引き続き支援する。

福祉施設の存続は、福祉全般の見直しが求められている認識を持つており、将来ニーズを明らかにしながら充実・強化を図っていく。

オーガニックビレッジ宣言



河村 隆行

質問

オーガニックビレッジ宣言の中では、次代を担う子どもたちに安心・安全な食材を提供する計画をしている。

全国的に有機による給食へ関心が高まる中、次の事について質問する。

- ・学校給食の無償化は続けるのか。
- ・有機米は供給されているが、野菜は。
- ・サクラマス交流センター、学校など各施設への納入業者と生産者は。

- ・今後も安定的に供給できる体制か。
- ・今後は保育園・福祉施設への供給も考えているのか。
- ・これに伴う生産量の確保はどのように計画し実行していくのか。

現状は

教育長

・学校給食の無償化は継続する。

- ・有機野菜は、町内全体では約10%である。
- ・サクラマス交流センターも産地は町内産、納入業者は奇数月はやくろ、偶数月はエポック。
- ・安定供給を見込んでいるが価格の値上がりが懸念される。

町長

学校給食の食材に関して
は、柿木地区は「食と農・かきのきむら企業組合」、六日市・七日市地区は、「農業公社」が担当。

・昨今の異常気象による生育不良・生産者の高齢化により食材が集まりにくくなっている。

集落の危機は



大庭 澄人

質問

吉賀町のほとんどの地域で人口が減ってきている。ガソリンスタンドや商店の閉鎖も相次いでいる。

特に市街地から少し

離れると空き家も目立ってきており、また、工場の従業員も外国人労働者が多く、集落の行事も開催が困難になってきている。

周辺の農地も荒廃し、住民も高齢化して活動ができず困っている。

子ども達も卒業と同時に町外へ転出し、高齢化に拍車をかけている。これらの現状について町長の考えを聞く。

地域活性化の推進を図る

町長

まちづくり計画及び各分野の計画等との整合を

図り、住民、地域団体、企業、行政等官民が連携し、町全体で人口減少の克服と、地域活性化を通じた持続可能な地域社会の実現に向け、取り組んで行く。

集会所のバリアフリー化は

質問

集会所に身体の不自由な人も入れるようにして欲しい。地域の少ない

配分の中での自治振興交付金では、十分な工事ができない。それでも自治振興交付金で行えというのか、町では対応できないのか。

交付金の活用を

町長

今回の件については、自治振興交付金を活用して、自治会のほうで対応してほしい。

令和4年度一般会計ほか7会計の決算審査を実施し、全会計を認定

決算審査特別委員会報告書（抜粋）

〈審査意見〉

①時間外勤務については、新型コロナウイルス感染症や災害対応等考慮すべき点はあるが、従前から指摘しているとおり、規則の順守に努めること。

②指定管理施設においては、利用料等を検証し、利用者に不公平感を抱かせることが無いよう、運営に当たられたい。

③各種税金、利用料等の滞納について、滞納となつた原因を調査し、徴収専門員の再配置も含め滞納額の減少に努められたい。

委員会に付託された案件を審査した結果、意見を付して全案件を原案のとおり認定することに決定した。



発委

※委員会が提出した議案

【発委第5号】

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書（案）

提出者 経済常任委員会

委員長 河村 隆行

発議

※議員が提出した議案

【発議第4号】

最低賃金引上げ分への支援で営業を守ることを求める意見書（案）

提出者 藤升 正夫

〔理由〕最低賃金上がることは、中小企業にとつて賃金・雇用・労働時間・設備投資等、経営環境の悪化につながる。直接支援により、経営と雇用を守り、地域経済を支えるため。

◇賛成多数により可決

【発委第6号】

高齢者福祉・介護施設・事業所で働く人の処遇改善を求める意見書（案）

提出者 総務常任委員会

委員長 三浦 浩明

〔理由〕利用者の負担増につながらない処遇改善を行い、人材を確保するため。

◇賛成多数により可決



〔理由〕高津川森林組合から、森林環境譲与税を、森林が多い地域に多く配分するように国に求める要望書（要望第2号）が提出され、委員会審査の結果、採択されたため。

◇全員賛成により可決

要望

【要望第1号】

アンテナショップ土地建物賃貸借料の行政負担について

食と農・かきのきむら企業組合

理事長 斉藤 哲一

「経済常任委員会審査意見」

この件は、合併当初より議論があったが、町は今年度「オーガニックビレッジ宣言」をし、今後5年間の有機農業推進策を出した。現時点でその必要性を否定するものではない。今後、さらに供給を増やし、アンテナショップ本来の機能強化を図りたい。

◇全員賛成により採択

意見交換会



アンテナショップ職員と（7月19日）



食と農・かきのきむら企業組合と（7月20日）

意見交換会



福祉職場と（9月25日）

総務常任委員会は、深刻な人手不足や介護報酬等の問題を抱える福祉関係の職員の方に、現在の職場の状況を伺いました。問題解決と処遇改善を強く求めるため「高齢者福祉・介護施設・事業所で働く人の処遇改善を求める意見書」を提出しました。

県市町村議会広報研修会

8月25日、松江市にて県市町村議会の広報研修会が行われました。当日は、議会広報ファシリテーターで、熊本大学客員教授の越地真一郎先生に市町村ごとの評価と、参加市町村からのコメントも多数いただき、大変有意義な研修となりました。



広報研修会の様子（8月25日）

編集後記

令和4年4月号から、町内5公民館単位で、農産物集出荷の現場を表紙の写真題材にし、皆様のご好評をいただきました。コロナ禍で皆さんの笑顔がマスクに覆われていたことが残念です。

紙面については、正しい情報を読みやすく伝えるために、文章を何度もチェックし、イラストや写真の挿入位置を委員全員で協議しながら進めてきました。

「ご愛読いただき、委員一同感謝しております。今後の委員による議会だよりも引き続きよろしくお願いします。」

中田 元

広報広聴常任委員会

委員長	中田 元
副委員長	松蔭 茂
委員	桜下 善博
	河村 隆行
	庭田 英明

【今月の表紙】

体の負担軽減と省力化のため、最新機器「カンタンハンド」で作業している、「農事組合法人立河内絆」の組合員の方々です。

「ご協力ありがとうございました。」